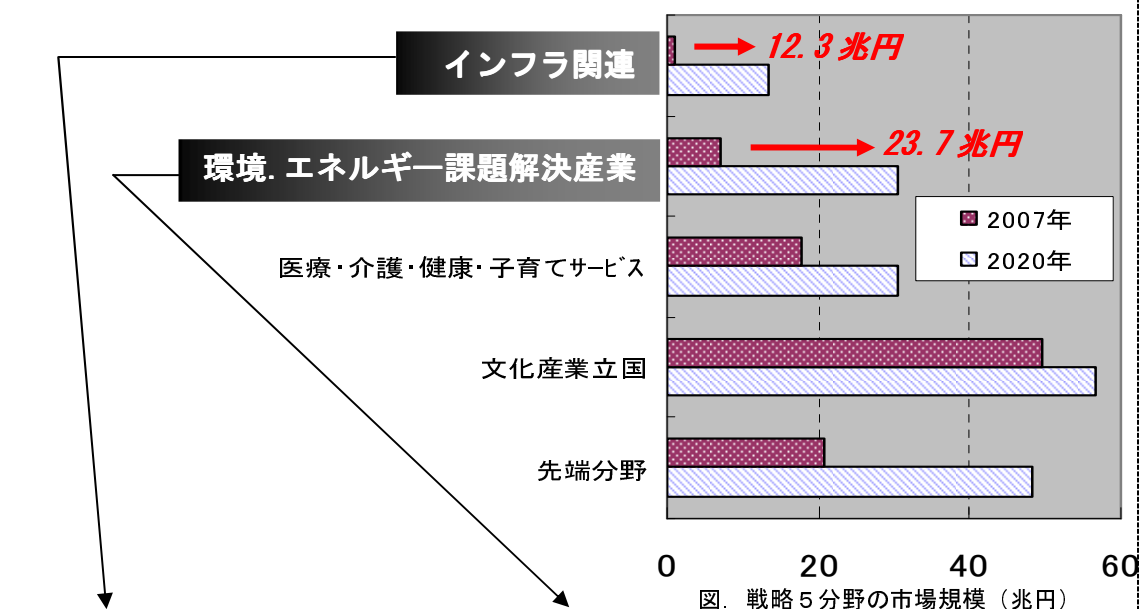


## 現状認識等

## 今後の方向性等

### 1 経済産業省 産業構造ビジョン



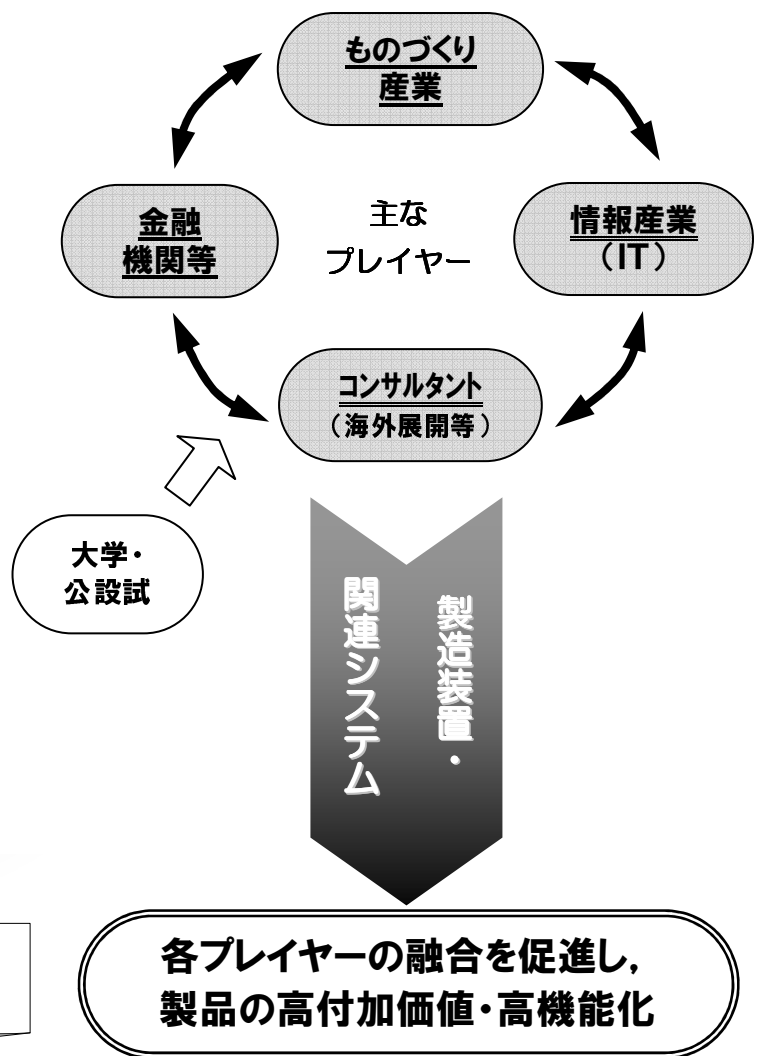
- ①水
  - ②石炭火力発電
  - ③送配電
  - ④原子力発電
  - ⑤鉄道
  - ⑥リサイクル
  - ⑦宇宙産業
  - ⑧スマートグリッド・スマートコミュニティ
  - ⑨再生可能エネルギー
  - ⑩情報通信
  - ⑪都市開発・工業団地
- ①スマートコミュニティ
  - ②次世代自動車
- 経済産業省は、上記の戦略5分野を重点的に政策支援する方針を発表（産業構造ビジョン、2010.6.3公表）。「インフラ関連」および「環境・エネルギー課題解決産業」の市場規模は、2020年までにそれぞれ12.3兆円、23.7兆円拡大すると予測。

### 3 低炭素化への要求

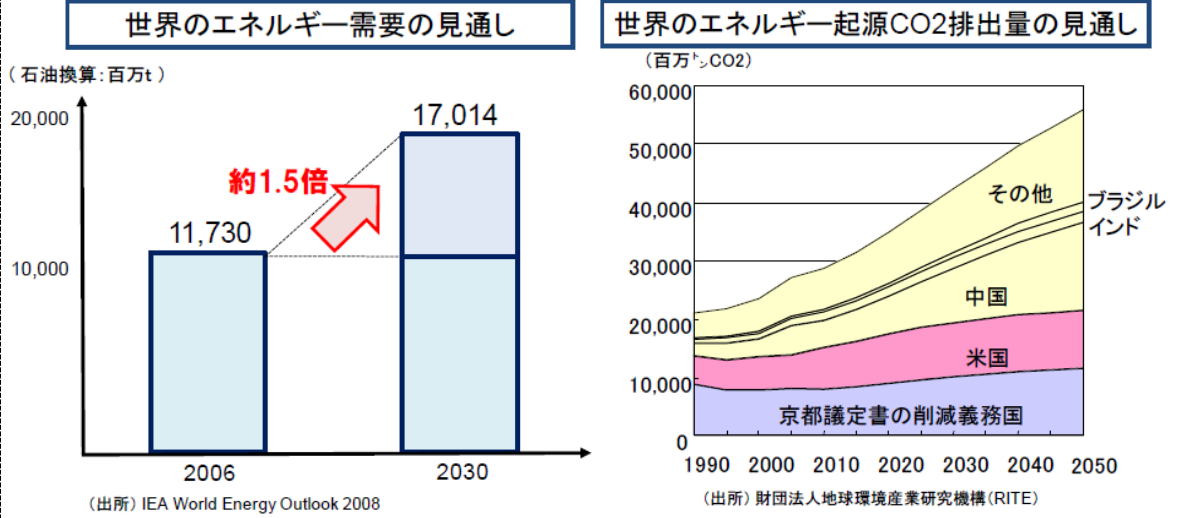
- (1) 市場の拡大が予想される関連分野
- **太陽光発電**  
世界市場 3.7兆円 (2010年) ⇒ 25.4兆円 (2030年)
  - **リサイクル**  
世界市場 16兆円 (2005年) ⇒ 33兆円 (2020年)
  - **水処理**  
世界市場 36兆円 (2007年) ⇒ 87兆円 (2025年)
  - **LED・有機EL**  
国内LED照明市場  
0.6兆円規模 (2007年) ⇒ 1.0兆円規模 (2015年)
  - **バイオマス**  
県内原木生産量 (スギ・ヒノキ)  
5万m<sup>3</sup> (2007年) ⇒ 40万m<sup>3</sup> (2020年)  
発電容量 37千MW (2008年) ⇒ 92千MW (2020年)
  - **次世代自動車**  
販売台数に占める次世代自動車シェア  
日本 5% (2009年) ⇒ 60% (2020年)

市場規模の出典  
 ○太陽光発電 ⇒ 中国経済産業局 報告書  
 ○リサイクル ⇒ 経済産業省 産業構造ビジョン  
 ○水処理 ⇒ 経済産業省 産業構造ビジョン  
 ○LED・有機EL ⇒ LED照明推進協議会 ロードマップ  
 ○バイオマス ⇒ 広島県林業課、富士経済  
 ○次世代自動車 ⇒ 環境省 次世代自動車普及戦略

### (2) 事業展開イメージ

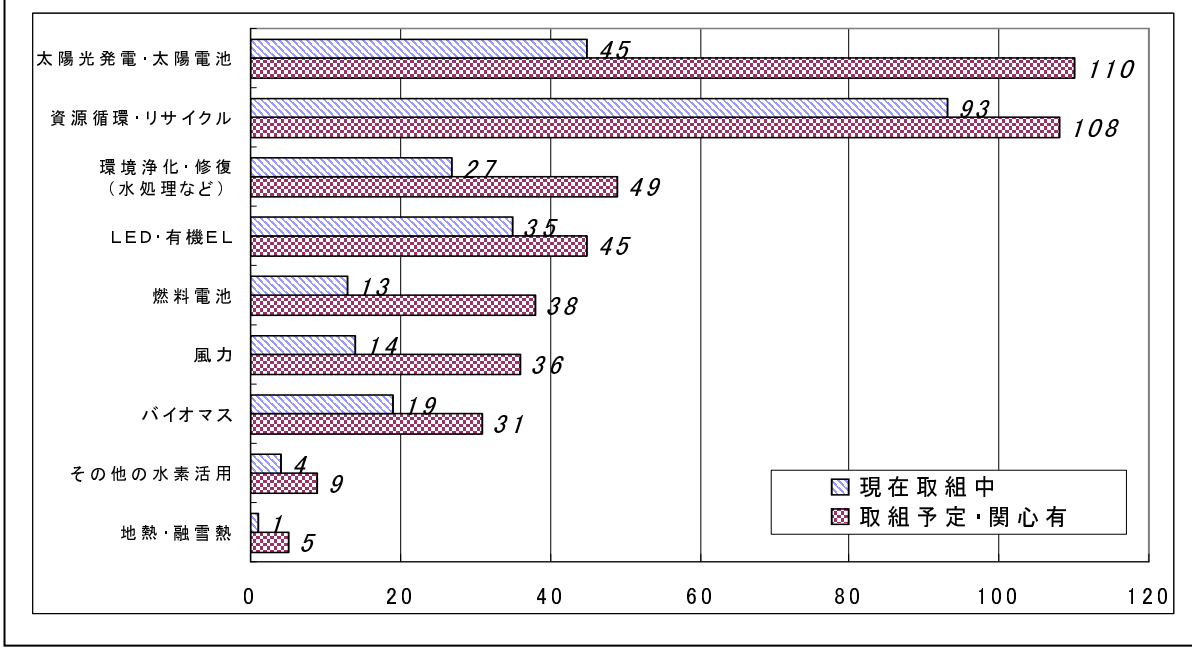


### 2 世界のエネルギー需要とCO<sub>2</sub>排出量



世界のエネルギーの需要は、新興国の伸びを中心として、2030年には約1.5倍に増加すると予測。  
 エネルギー問題は、地球環境問題への取組と表裏一体のテーマ。新興国を中心にCO<sub>2</sub>排出量が増加する中で、大幅削減につながる取組をただちに進める必要がある。

### 4 企業の取組



環境・資源・エネルギー分野のうち、太陽光発電・太陽電池、資源循環・リサイクル、環境浄化・修復 (水処理等) 等の分野について、今後取組む予定、又は関心のある企業が多い。また、現在既に取り組んでいる分野についても同様の傾向。

全1913社中の回答企業数(社)  
 (資料:県内事業所の先駆的取組に関するアンケート調査 (H21))